

2025年4月28日
出光興産株式会社

CO₂除去（CDR）に特化した海外ファンドに出資 ネットゼロに向けた取り組みを推進

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：酒井則明、以下「当社」）は、CO₂除去（Carbon Dioxide Removal、以下「CDR」）に関する事業に取り組むスタートアップ企業への投資に特化したファンド Carbon Removal Partners - Systemic Ventures I SCSp（以下「ファンド」）に出資します。同ファンドは、CDRに関する高い専門性を有する Carbon Removal Partners AG（本社：スイス、Partner/Chairman：Max Zeller、以下「CRP社」）が組成・運用するファンドです。当社は出資に加え、CRP社とのパートナーシップを構築することで、多様な技術やプロジェクト、さらにはカーボンクレジット創出に関する実務的な知見を獲得し、CDRの社会実装を進めます。なお、出資は出光アメリカズホールディングス（本社：米国、社長兼CEO：杉原啓太郎、当社100%子会社）を通じて行います。

2050年のカーボンニュートラル達成には、CO₂排出量の削減にとどまらず、大気中のCO₂を除去するネガティブ・エミッションの実現が不可欠です。ネガティブ・エミッションの実現に向けて、大気中のCO₂を直接または間接的に取り除くCDRの社会実装が期待されています。

CDRの手法は、植林・再植林や土壌炭素の貯留といった「自然由来型」と、DACCS（Direct Air Capture and Carbon Storage、直接空気回収）やBiCRS（Biomass Carbon Removal and Storage、バイオマス由来のCO₂除去・貯留）、風化促進（岩石などを利用した大気中のCO₂除去・貯留）といった「技術主導型」に大きく二分されます。

当社が出資するファンドは、自然由来型の要素も取り入れつつ、技術主導型のCDRアプローチに重点を置いた包括的な投資戦略を採用しています。最先端のCDR技術の開発に取り組むスタートアップに加え、開発された技術の社会実装を後押しする、信頼性の高いMRV（Measurement, Reporting and Verification、測定・報告・検証）関連事業やカーボンクレジット市場の創出・整備に従事するスタートアップを幅広く選定していることが特徴です。

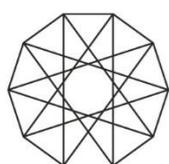
CRP社はCDR分野に特化したベンチャーキャピタルで、CDRに関する高い専門性を有します。最先端の技術トレンドを的確に捉える先見性や、アカデミア・研究機関との広範なネットワークに強みを持ち、企業や研究機関との共同研究・実証プロジェクトなども展開しています。

当社は 2022 年 11 月に発表した中期経営計画において、2030 年までに Scope 1 および Scope 2 の排出量を 2013 年度比で 46%削減し、さらに 2050 年までにカーボンニュートラルを達成することを目標に掲げています。この目標の達成に向けて、海外のスタートアップや関連機関との連携を強化しながら国内外の多様なパートナーと協働することで、CO₂除去に向けた取り組みを戦略的に推進します。また、CDR の先進市場の一つである北米地域においては、技術トレンドの把握と実証機会の拡大に注力してまいります。

【参考】

1. CRP 社概要

URL : <https://www.carbonremoval.partners/>



CARBON REMOVAL PARTNERS

CRP 社は CDR 分野に特化したベンチャーキャピタルです。スイス・チューリッヒに本社を構え、米国にも子会社を有する同社は、CDR 分野に特化したベンチャーキャピタルをいち早く立ち上げた先駆者です。同社が組成・運営するファンドは、欧州および北米を中心に、CDR 関連技術の研究開発および社会実装を推進するスタートアップ企業への投資を行っています。投資対象は、科学的・技術的な信頼性に基づき選定されたスタートアップを厳選しており、脱炭素社会の実現に貢献することを目指しています。

2. CRP 社がファンドを通じて出資するスタートアップの例



Climeworks AG (スイス)

世界最大の DAC 施設「Mammoth」を運用し、再生可能エネルギーを活用して CO₂を大気から除去・地下に永久貯留



CO280 Solutions Inc. (カナダ)

パルプ・製紙工場に炭素回収技術を導入し、産業プロセスの CO₂を回収・貯留



Greenlyte Carbon Technologies GmbH (ドイツ)
低エネルギーの液体吸収法による DAC 技術を開発し、
CO₂除去と同時に水素を副産物として生成する革新的な
プロセスを提供



Heirloom Carbon Technologies, Inc. (米国)
石灰岩を利用して自然の炭酸塩化プロセスを加速し、低
コストで大規模な CO₂除去を可能にする DAC 技術を開発



InPlanet GmbH (ドイツ・ブラジル)
熱帯地域の土壌に適した風化促進技術を用いて、CO₂除
去と土壌再生を同時に行う



Spiritus (米国)
独自の素材と低温脱着プロセスを用いたモジュール型
DAC システム「Carbon Orchard」を開発し、効率的な
CO₂除去を実現

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html